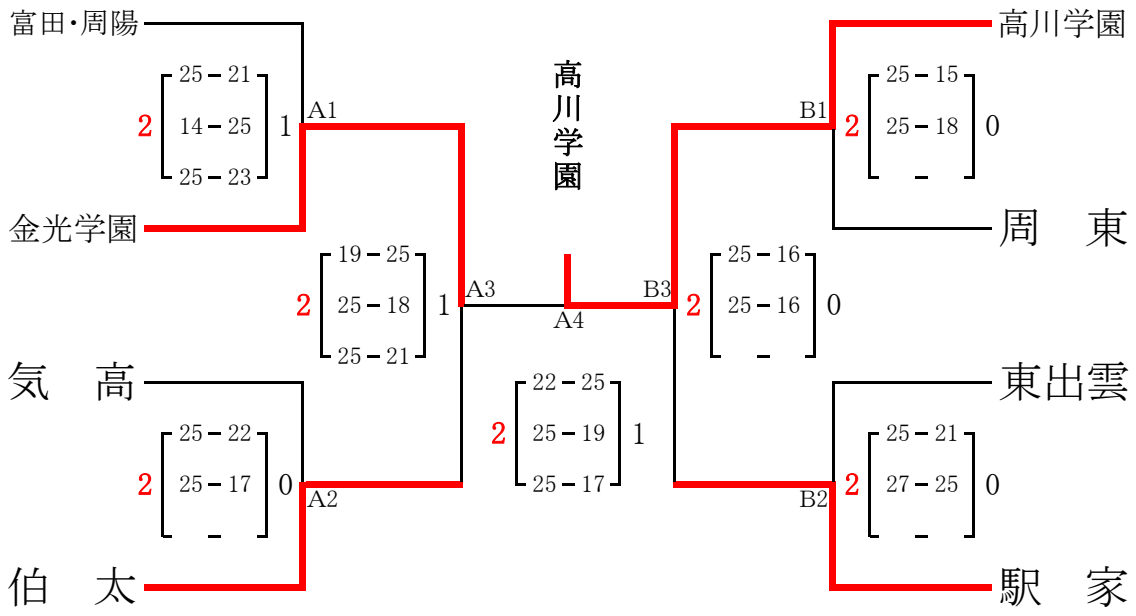
# 決勝トーナメント

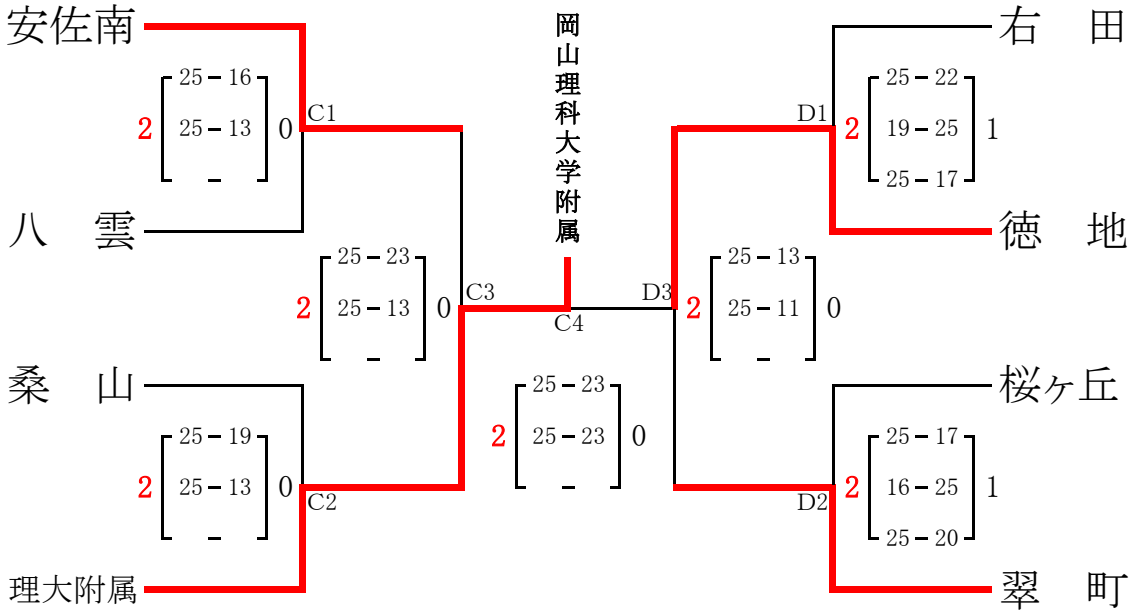
2月20日（日）

## 男　子




大会戦評：　今大会決勝は、私立同士の対決となった。高川学園は昨年度準優勝チーム、金光学園は大型選手を擁したチーム。2チームとも随所に好プレーを連続して決勝まで勝ち上がってきた。1セット目は、金光学園の両エースが期待通りの活躍を見せて、競り勝ちチームのムードは最高潮に。2セット目は序盤競り合っていましたが、徐々に高川学園の守りからの攻めが功を奏しだし、後半抜け出した。3セット目は、高川学園の持ち味である守りが相手のミスを誘い、高川学園が押し切り、初優勝をもぎ取った。

## 女　子




大会戦評：決勝は地元開催の声援を受けての徳地と、岡山県の強豪校就実を県内で倒した岡山理科大学付属の対決となった。序盤から白熱した展開となり、一進一退のゲーム。終盤理大附属のサーブやレシーブが冴え、接戦をものにした。2セット目は逆に徳地のペーストなり、終盤までリードした。20点を超えたあたりから、理大附属の反撃が始まり、23対23まで追いつくと、あとは徳地のタッチネットのミスから一気に25点をもぎ取り初優勝を飾った。